

7月かながわイベントガイド

上旬	湘南ひらつか七夕まつり(平塚市) 平塚八幡宮歩射神事(平塚市)
27日	中旬 御供流し(鎌倉市) 第4回 鮎 西水の滝まつり(山北町)
27日	開催延べ 日曆6月24日 (年により異なります)(浜横市)
下旬	寅太郎 夕日の海びらき(南足柄市) 下田吐司 大和阿波おどり
8~10日	弘明寺觀音四万六千日(横浜市)
10~11日	みさき白秋まつり(三浦市)
15日	宮窓野祭立獅子舞(箱根町)
中旬	小坪須賀神社祭礼(逗子市) 厚木神社例大祭(厚木市)
	江の島天王祭(藤沢市)
	久里浜ドリームフェスティバル(横須賀市)
	三浦の獅子舞(愛川町)
	海南神社夏の例大祭(三浦市)
	白幡八幡大神の祇園舞(川崎市)
	浜脇祭(茅ヶ崎市)

8月 足柄金太郎まつり 南足柄市

金太郎が産湯をつかったと伝えられる夕日の瀧で、山伏によるお水取り儀式が行われる。また子ども相撲、花火大会などが開催される。

開催日●8月上旬／場 所●南足柄市中沼 江下グラウンド
交 通●大雄山導富フィルム前駅下車



41

橋本七夕まつり 相模原市

昭和27年、橋本商店街の振興対策として始められた。色とりどりの竹飾りが立ち並び、見物客を楽しませる。

開催日●8月上旬／場 所●相模原市橋本商店街
交 通●横浜線・京王線・相模線橋本駅下車



42

8月 湯河原やっさまつり 湯河原町

鎌倉時代の豪族、土肥次郎実平が年に一度放歌乱舞の機会を与えて民衆を楽しませた踊り「やっさまり」がこの祭りの発祥となる。「やっさまり」とともに芸者衆や神輿、花車など華やかなパレードが見どころ。

開催日●8月上旬／場 所●湯河原町一円／交 通●東海道線湯河原駅下車



35

雪洞祭 鎌倉市

鶴岡八幡宮の段葛から境内いっぱいに鎌倉在住の著名人の書画によるぼんぼりが多数飾られる。ぼんぼりに灯がともる夕方から夜が見どころ。幻想的でとても美しい。

開催日●8月6日~9日(立秋の前日~9日)

場 所●鎌倉市鶴岡八幡宮 / 交 通●横須賀線鎌倉駅下車



36

よこすか開国祭花火大会 横須賀市

神奈川県横須賀市で開催される「よこすか開国祭」のメインイベントの一つ。6000発の多彩な花火が、真夏の夜空を華やかに彩る。

開催日●6月上旬／場 所●横須賀市三芦公園周辺
交 通●京急線横須賀中央駅下車



37

さがみ湖湖上祭花火大会 相模原市

湖に関係して亡くなられた方々の慰霊と湖の安全を願うために始められた歴史ある花火大会。打上げ数は5000発。素晴らしい音と光の芸術を繰り広げる。

開催日●8月上旬／場 所●相模原市相模湖畔 / 交 通●中央線相模湖駅下車



38

川崎山王まつり 川崎市

稻毛神社は平安時代末期「山王神社」と呼ばれ、江戸時代には川崎宿の鎮守として参詣も多く盛りを見せた。祭礼は世襲によって伝承された宮座による祭事が行われ難かに武道や神樂が奉納される。当日は大神輿が町内を練り歩く。

開催日●8月上旬／場 所●川崎市川崎区宮本町稻毛神社 / 交 通●川崎駅下車



39

あつき鮎まつり 厚木市

祭りの呼び物は相模川河畔で行われる花火大会。約10000発の花火が夏の夜空を染め上げる。期間中は前夜祭、パレード、神輿、など多彩な催しが行われ大勢の客で賑わる。

開催日●8月上旬／場 所●厚木市相模川、中津川、小船川の三川合流点
交 通●小田急線厚木駅下車



40

まつだ観光まつり 松田町

見どころは「大名行列」と「百八ツ火」。大名行列は小田原城主、大久保家の家紋より御鑑から指導を受け明治初期から行われている。百八ツ火は、松田山山頂に108の松明を打す行事。期間中は花火大会なども行われる。

開催日●8月下旬／場 所●松田町 松田町内各所
交 通●小田急線松田駅または御殿場線松田駅下車



47

川尻八幡神社の夏祭り 相模原市

町内の奉仕者が白装束に身を包み、神事の終わった神輿をかついで社殿を3度回り、3つの鳥居をくぐり町内を練り歩く。勇壮な夏祭りの一絵巻が展開される。夕方以降は各種の余興も行われ祭りを盛り上げる。

開催日●8月下旬／場 所●川尻八幡神社
交 通●横浜線・京王線・相模線橋本駅下車バス



48

多摩川花火大会 川崎市

昭和の初期から多摩川の夏を告げる風物詩として親しまれてきた。高打ち上げられた花火が川面に映る様も美しく、付近の住民はもちろん、広い地域から大勢の見物客が集まる。

開催日●8月下旬
場 所●川崎市高津区河川敷 国道246号多摩川二子橋下流河畔
交 通●南武線武藏溝ノ口駅または田園都市線二子新地駅下車



49

8月かながわイベントガイド

上旬	横木七夕まつり(相模原市)
中旬	青龍祭(川崎市)
下旬	西の日 遊子市お峯入り(山北町)

10月かながわイベントガイド

上旬	新能神事(鎌倉市)
中旬	光明寺のお十夜(鎌倉市)
下旬	10月かながわイベントガイド
上旬	光明寺のお十夜(鎌倉市)
中旬	尊徳祭(小田原市)
下旬	伊勢原觀光道灌まつり(伊勢原市)

10月 山北のお峯入り 山北町

お峯入りとは修験者の入峰修行を意味し、神社文化財の氏子を中心に儀式が演じられる。國の重要無形民俗文化財に指定されている。儀式の所作は記録がなくすべて口伝で、特に五色縄りは見事。公演後の道行きはあでやかである。

開催日●10月中旬／不定期、概ね5年毎／場 所●山北町 香瀬川神明社



53

光明寺のお十夜 鎌倉市

お十夜は足柄時代に平賀国が京都の真如堂にこもり、10日間念仏を唱え続けたことから始まった淨土宗の法要。期間中、多くの参詣者が賑わい、夜を徹しての御詠歌や念佛が響き、莊厳な雰囲気を感じさせる。

開催日●10月中旬／場 所●鎌倉市光明寺 / 交 通●横須賀線鎌倉駅下車バス



54

10月影向寺の縁日 川崎市

影向寺は、天平年間の創建と言われ、江戸をはじめ広く信仰されていた歴史ある寺。祭りの日は、薬師堂に安置された薬師如来を中心とする供養が行われる。境内には有名な植木市がたち、金物や玩具などの露店も多く出で賑わう。

開催日●11月上旬

場 所●川崎市宮前区野川影向寺

交 通●南武線・東急東横線武蔵小杉駅下車



55

11月かながわイベントガイド

上旬	かわさき市民祭り(川崎市)
中旬	尊徳祭(小田原市)
下旬	伊勢原觀光道灌まつり(伊勢原市)
上旬	初甸祭 みかん狩り(湯河原町)
中旬	寄生虫不育収養会マス釣り大会(松田町)
下旬	10月かながわイベントガイド
上旬	山北のお峯入り(山北町)
中旬	光明寺のお十夜(鎌倉市)
下旬	10月かながわイベントガイド
上旬	光明寺のお十夜(鎌倉市)
中旬	尊徳祭(小田原市)
下旬	伊勢原觀光道灌まつり(伊勢原市)



50

秦野たばこ祭 秦野市

秦野市は江戸時代からたばこ栽培の盛んな地で、秦野葉として有名。栽培は昭和59年に終了したが、たばこ栽培の情熱は受け継がれ、祭も続いている。

開催日●9月下旬／場 所●秦野市本町地区一円／交 通●小田急線秦野駅下車



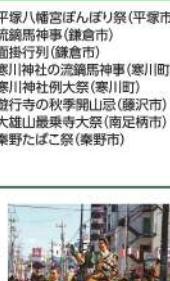
51

9月 お三の宮秋祭り 横浜市

日枝神社の氏子は伊勢佐木町など横浜の46ヶ町に及び、祭りの規模も市内屈指で、神輿が町内から練り歩く。

日枝神社は吉田新田の開拓者、吉田勘兵衛が新田の鎮守として江戸の山王権を勧進して創始したもの。

開催日●9月上旬／場 所●横浜市南区山王町日枝神社 / 交 通●京急線南太田駅下車



52

9月かながわイベントガイド

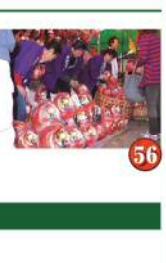
上旬	栗原神社の獅子・獅子舞(座間市)
中旬	平塚八幡宮ぼんぼり祭(平塚市)
下旬	流鏑馬神事(鎌倉市)
上旬	面掛行灯(鎌倉市)
中旬	寒川神社の流鏑馬神事(寒川町)

12月 飯泉觀音だるま市 小田原市

400年以上から続く歴史の古いだるま市で、年末年始にかけて関東で開催されるだるまの皮切りとなる。威勢のいい「手打ち式」の声とともに歓声があがり、活気あふれた祭りとなっている。室内安全を願う家族連れが多く訪れる。

開催日●12月中旬／場 所●小田原駅 飯泉山勝福寺

交 通●小田原駅下車バス



56

12月かながわイベントガイド

上旬	川尻八幡神社のしめ縄作り(城山町)
6日	秋葉山の火防祭(小田原市)
16日	御薬座慶念祭(鎌倉市)
中旬	飯泉觀音だるま市(小田原市)
18日	長谷寺の歳の市(鎌倉市)
21日	納めの大師(川崎市)
31日	大祓(鎌倉市)
31日	除夜の汽笛(横浜港)

10

10月伊勢原觀光道灌まつり 伊勢原市

江戸城の創建者として知られる太田道灌をしのび昭和43年から始まった。この地にゆかり深い道灌や源頼朝の行列が見られるほか、郷土色豊かな太鼓、神輿の行列、パレードなどが祭を華やかに盛り上げる。

開催日●10月中旬／場 所●伊勢原市一円／交 通●小田急線伊勢原駅下車



53